

ぼくらとはいきよと町づくり

この企画は、国分の町にゆいはいきよを、
さまざまな形で利用していくものです。

最終的には、このはいきよの活用で、国分
の人口が増えていけばいいと思っています。

ぼくは、学校の行き帰りに、はいきよをた
くさん見ているけど、正直「ボロボロの家か
ある」程度にしか思っていないでした。し
かし、背たけが変わり、木の温かみやはいき
よには木造建築がゆりことを知り始めてい
くと、「はいきよには、はいきよなりの良り所
があるのに、もったいないな。」と感じるよう
になりました。これが、この企画のきっかけ
です。

具体的なはいきよの利用には、大きく分
けて五つの活用方法があります。

一つ目は、森のレストランです。外見はボ
ロボロでも、中をのぞくとオシャレな空間が
広がっていて、自然の美しさをたんのうしな

①

③

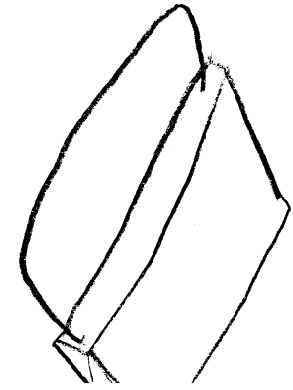
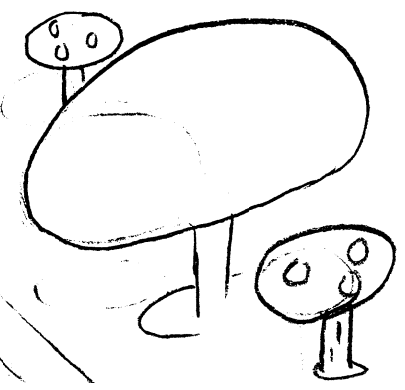
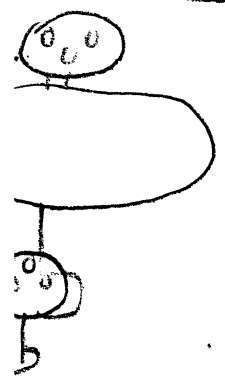
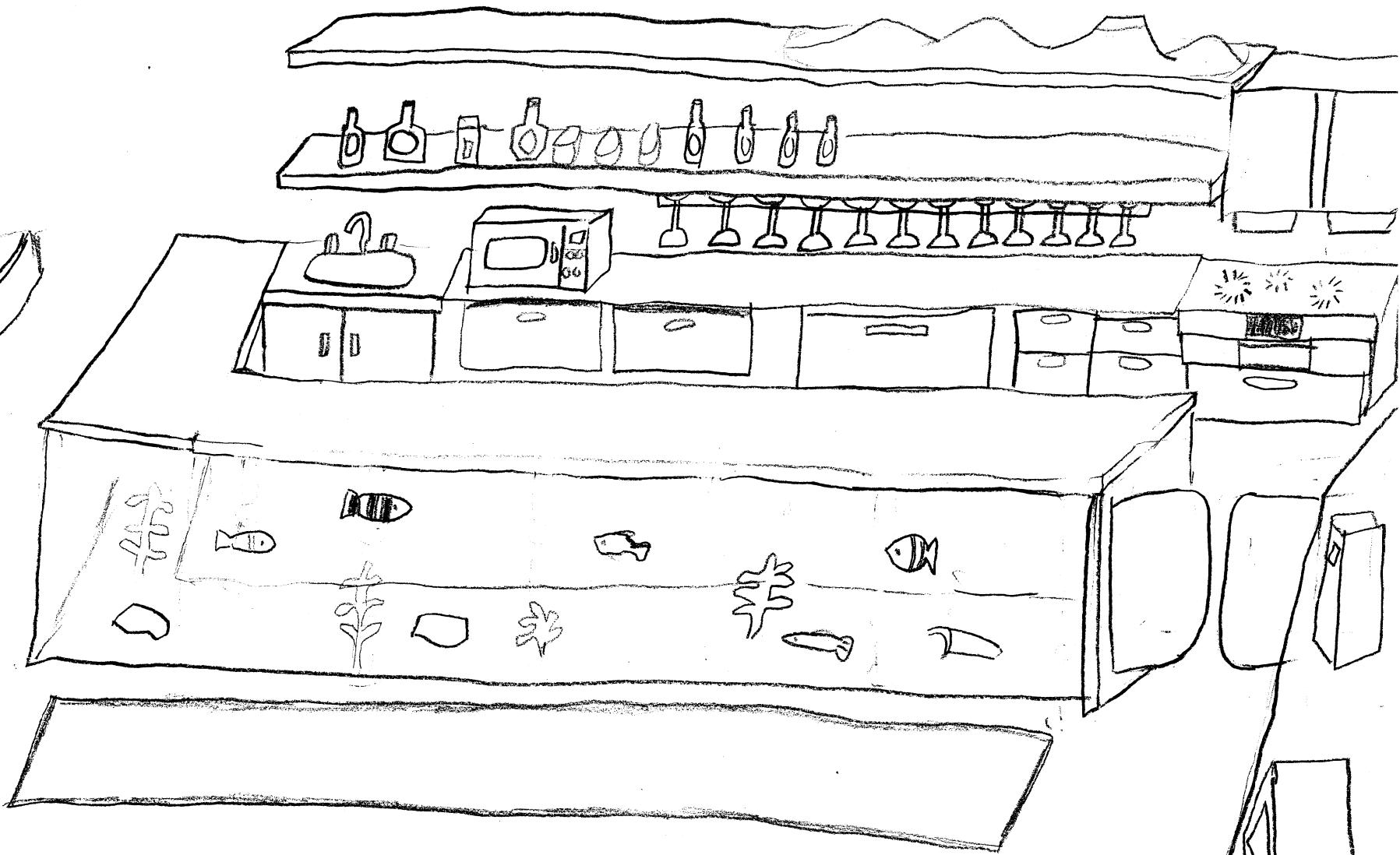
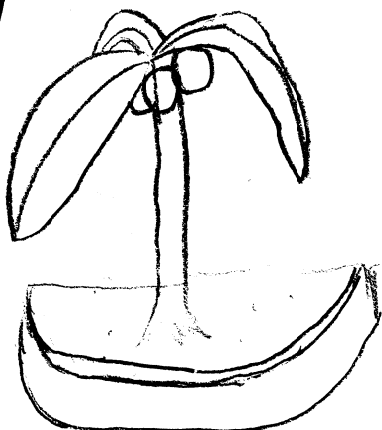
から、食事を楽しむことが出来ます。三つ目④
は、お化け屋敷です。普通のお化け屋敷も十
分こわいですが、今回活用するのは、ボロボ
ロのはいきよです。今にもくゞおれえうな生り②
きよの中で、お化けに追われたら、とてもこ
わい体験をすること出来ます。おからきっ
と、小・中学生には、とても楽しい場所にな
ると思います。三つ目は、学生たちとのコウ
ボです。空くの街の国分では、すでにある高
校の学生たちが、コンビニとコウボして新し
い商品を開発しています。それと同じように、
はいきよの中でお店を開き、学生とコウボし
たら、外見も独特、売っている商品も独特の
おもしろいお店が出来ると思います。四つ目
は、はいきよのキャンプです。はいきよの中
でも、もうこわれかけているものもあります。
それを逆利用した発想がキャンプ場です。こ
ぼこした地形は山の中、こわれかけた家は
洞窟。そこでキャンプをすると、小さな冒険
をすることが出来ますね。最後の五つ目は、

明目的ルームです。今まで四つの活用方法をあげましたが、他のことではいきよを活用したいという人も、いると思います。だから、管理人さんにはいきよのかぎをあずけ、はいきよを貸してほしりと申し込んできた人だ、はいきよを貸してあげれば、さまざま用途ではいきよを利用することが出来ます。今まででは、「やってもらう側」だったけど、この活用方法では、「やってあげる側」になることも出来ます。

はいきよを生かしたこの企画、いかがだったでしょうか。最近、持続可能な開発目標(SDGs)という言葉をよく耳にします。その中の一つに、この企画はあてはまると思います。この企画をきっかけに、はいきよの良方を、少し変えてもらえることで自分の考え方も、と大きなものに変わってゆくと、ぼくは信じています。



3





アキラ

79:99
アキラ

アキラ

アキラ

ハンバーグ